

資料IV-5 続き

第3 回調査票 到達度 I:ひとりでの実施できる 到達度 II:看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度 III:学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度 IV:知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
リネン交換	3 看護師・教員の指導のもとで、臥床患者のリネン交換ができる(到達度 II)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
食事介助	4 患者の状態に合わせて食事介助ができる(嚥下障害のある患者を除く)(到達度 I)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
食事介助	5 患者の食事摂取状況(食行動、摂取方法、摂取量)をアセスメントできる(到達度 I)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
栄養状態・体液・電解質パランスの査定	6 看護師・教員の指導のもとで、患者の栄養状態をアセスメントできる(到達度 II)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
栄養状態・体液・電解質パランスの査定	7 電解質データの基準値からの逸脱がわかる(到達度 IV)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
食生活支援	8 10と重なるので削除する	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
食生活支援	9 看護師・教員の指導のもとで、患者の疾患に応じた食事内容が指導できる(到達度 II)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
食生活支援	10 看護師・教員の指導のもとで、患者の個性を反映した食生活の改善を計画できる(到達度 II)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
経管栄養法(経鼻胃チューブの挿入)	11 モデル人形での経鼻胃チューブの挿入・確認ができる(到達度 III)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

資料IV-5 続き

第3 回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
経管栄養法(流動食の注入)	12 経管栄養法を受けている患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
経管栄養法(流動食の注入)	13 看護師・教員の指導のもとで、患者に対して、経鼻胃チューブからの流動食の注入ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
便器・尿器の使い方	17 患者に合わせた便器・尿器を選択し、排泄援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
便器・尿器の使い方	18 ポータブルトイレでの患者の排泄援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
オムツ交換	19 看護師・教員の指導のもとで、患者のおむつ交換ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
失禁ケア	21 失禁をしている患者の皮膚粘膜の保護がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
摘便	23 基本的な摘便の方法、実施上の留意点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
膀胱内留置カテーテル法(管理)	27 看護師・教員の指導のもとで、膀胱留置カテーテルを挿入している患者のカテーテル固定、ルート管理、感染予防の管理ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
流腸	28 モデル人形にグリセリン流腸ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

## 資料IV-5 続き

第3回調査票 到達度Ⅰ:ひとりで実施できる 到達度Ⅱ:看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ:学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ:知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
ストーマ造設者のケア	30 基本的なストーマ造設部の管理、パウチ交換の方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
ストーマ造設者のケア	31 ストーマを造設した患者の一般的な生活上の留意点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
歩行・移動の介助	35 患者の歩行・移動介助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
廃用性症候群予防	36 廃用性症候群のリスクをアセスメントできる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
廃用性症候群予防	38 廃用性症候群予防のための呼吸機能を高める援助がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
入眠・睡眠の援助	39 入眠・睡眠を意識した日中の活動の援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
入眠・睡眠の援助	40 患者の睡眠状況をアセスメントし、基本的な入眠を促す援助を計画できる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
関節可動域訓練	45 看護師・教員の指導のもとで、関節可動域訓練ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
入浴介助	46 入浴が生体に及ぼす影響を理解し、入浴前・中・後の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

資料IV-5 続き

第3回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
部分浴・陰部ケア	49 看護師・教員の指導のもとで、陰部の清潔保持の援助ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
沐浴	50 乳幼児の沐浴の必要性と生体に及ぼす影響がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
沐浴	51 モデル人形に沐浴の実施ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
清拭	52 看護師・教員の指導のもとで、臥床患者の清拭ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
洗髪	54 看護師・教員の指導のもとで、臥床患者の洗髪ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
口腔ケア	56 看護師・教員の指導のもとで、意識障害のない患者の口腔ケアができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
寝衣交換など衣生活援助(臥床患者)	60 輸液ライン等が入っていない臥床患者の寝衣交換ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
酸素吸入療法	62 看護師・教員の指導のもとで、酸素吸入療法が実施できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
酸素吸入療法	63 酸素吸入療法を受けている患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

資料IV-5 続き

第3回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導の下で実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
気道内加湿法	65 看護師・教員の指導のもとで、気道内加湿ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
体温調整	66 患者の状態に合わせた温罨法、冷罨法が実施できる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
体温調整	67 患者の自覚症状に配慮しながら体温調節の援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
吸引(口腔、鼻腔)	68 モデル人形で、口腔内・鼻腔内吸引が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
吸引(気管内)	69 モデル人形で、気管内吸引ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
吸引(気管内)	70 気管内吸引時の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
体位ドレナージ	71 モデル人形あるいは学生間で体位ドレナージを実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
酸素ポンプの操作	72 酸素の危険性を認識し、安全管理の必要性がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
酸素ポンプの操作	73 学内演習で酸素ポンプの操作ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

## 資料IV-5 続き

## 第3回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
人工呼吸器装着中の患者のケア	75 人工呼吸器装着中の患者の観察点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
低圧胸腔内持続吸引中の患者のケア	77 低圧胸腔内持続吸引中の患者の観察点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
橋創の予防ケ	80 看護師・教員の指導のもとで、末梢循環を促進するための部分浴・霧法・マッサージができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
橋創の予防ケ	82 患者の橋創発生の危険をアセスメントできる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
包帯法	84 看護師・教員の指導のもとで、褥創予防のためのケアが計画できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
創傷処置	86 学生間で基本的な包帯法が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
創傷処置	87 学内演習で創傷処置のための無菌操作ができる(ドレーン類の挿入部の処置も含む)(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
創傷処置	89 患者の状態に応じた創傷保護材が選択できる(卒業後の習得でよい)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる
経口・経皮・外用薬の与薬方法	92 経口薬の種類と服用方法がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

## 資料IV-5 続き

## 第3回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
経口・経皮・外用薬の与薬方法	94 経皮・外用薬の与薬方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
直腸内与薬方法	96 モデル人形に直腸内与薬が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
点滴静脈内注射・中心静脈栄養の管理	97 点滴静脈内注射をうけている患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
点滴静脈内注射・中心静脈栄養の管理	98 中心静脈内栄養をうけている患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
点滴静脈内注射・中心静脈栄養の管理	99 学内演習で点滴静脈内注射の輸液の管理ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	100 皮内注射後の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	101 皮下注射後の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	102 モデル人形または学生間で皮下注射が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	103 筋肉内注射後の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

資料IV-5 続き

第3回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
104 皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	104 モデル人形または学生間で筋肉内注射が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
106 皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	106 モデル人形に点滴静脈内注射が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
109 輸液ポンプの操作	109 学内演習で輸液ポンプの基本的な操作ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
112 抗生物質の用法と副作用の観察	112 抗生物質を投与されている患者の観察点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
113 インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	113 インシュリン製剤の種類に応じた投与方法がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
114 インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	114 インシュリン製剤を投与されている患者の観察点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
115 麻薬の主作用・副作用の観察	115 麻薬を投与されている患者の観察点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
118 意識レベル把握	118 意識レベルの把握方法がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
119 意識レベル把握	119 看護師・教員の指導のもとで、患者の意識状態を観察できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )



## 資料IV-5 続き

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

## 第3 回調査票

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
気道確保	120 モデル人形で気道確保が正しくできる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
人工呼吸	122 モデル人形で人工呼吸が正しく実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
除細動	124 除細動の原理がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
止血	125 止血法の原理がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
チームメンバーへの応援要請	126 緊急時のチームメンバーへの応援要請の必要性がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
症状・病態の観察	130 患者の一般状態の変化に気づくことができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
検体の採取と扱い方(採尿、尿検査)	132 看護師・教員の指導のもとで、目的に合わせた採尿の方法を理解し、尿検体の正しい取り扱いができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
検体の採取と扱い方(採血、血糖測定)	133 モデル人形または学生間で静脈血採血が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
検体の採取と扱い方(採血、血糖測定)	134 看護師・教員の指導のもとで、簡易血糖測定ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

## 資料IV-5 続き

## 第3 回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について 同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
検体の採取と扱い方(採血、血糖測定)	135 血液検査の目的を理解し、目的に合わせた血液検体の取り扱い方がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
検査時の援助(心電図モニター、パルスオキシメータの使用、スパイロメータの使用)	137 看護師・教員の指導のもとで、検査の介助ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
検査時の援助(胃カメラ、気管支鏡、腰椎穿刺、12誘導心電図など)	139 看護師・教員の指導のもとで、検査後の安静保持の援助ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
検査時の援助(胃カメラ、気管支鏡、腰椎穿刺、12誘導心電図など)	140 看護師・教員の指導のもとで、検査前、中、後の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
必要な防護用具(手袋・ゴーグル、ガウン等)の選択	142 看護師・教員の指導のもとで、必要な防護用具(手袋・ゴーグル、ガウン等)の装着ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	143 看護師・教員の指導のもとで、洗浄・消毒・滅菌の方法が選択できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )
無菌操作	145 看護師・教員の指導のもとで、無菌操作が確実にできる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他( )

資料IV-5 続き

第3回調査票 到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)		B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください		C. Bで同意しない場合、1～5より選り、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください	
	針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	146	看護師・教員の指導のもとで、針刺し事故防止の対策が実施できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 6. その他( )	4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい
医療事故予防	150	学内演習で誤薬防止の手順にそった与薬ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 6. その他( )	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい	
医療事故予防	151	看護師・教員の指導のもとで、患者を誤認しないための防止策を実施できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 6. その他( )	4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい	
医療事故予防	153	看護師・教員の指導のもとで、放射線暴露の防止のための行動がとれる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 6. その他( )	4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい	
リスクマネジメント	155	災害が発生した場合には、指示に従って行動がとれる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	3. 学内演習で実施できる 6. その他( )	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい	

本調査に関する問い合わせは小山までどうぞご連絡いただければ幸いです。  
3回にわたるデルファイ調査へのご協力、本当にありがとうございました。

問合せ先 神奈川県立保健福祉大学 小山眞理子

TEL:046-828-2600 FAX:046-828-2601 E-mail: koyama-m@kuhs.ac.jp

下記に、所属機関と氏名のご記入をお願い致します。お名前は前回の調査と同様、参加状況の把握および研究報告書の送付のために使わせていただきます。調査内容の分析には用いることはありませんことをご了承下さい。

所属機関

氏名

看護基礎教育卒業時の学生の看護技術到達度実態調査へのご協力のお願い

平成 17 年度厚生労働科学研究(医療技術評価総合研究事業)「看護基礎教育における看護技術教育の充実に関する研究」

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私共は、看護基礎教育の卒業生が基礎教育から看護継続教育にスムーズに移行できるために、卒業時の看護技術の到達度を明らかにするとともに、看護技術教育の充実に向けて研究しています。昨年末からは、卒業時の到達度を看護教員と臨床の専門家の視点から明らかにするための調査をデルファイ法で行っています。貴校にもご協力いただき、誠にありがとうございました。

卒業時の到達度を決定していくには、デルファイ法の結果だけでなく、教育機関での実施可能性、実習先での実施可能性も含めて、すべてのデータを分析しなければなりません。このことを研究者グループだけでなく、有識者を含めた検討会で吟味していくことを計画しています。

つきましては、教育機関での実施可能性と関連して、看護学生の卒業時における看護技術の経験や到達度について明らかにすることを目的に、別紙の調査紙を用いて貴校の最終学年の学生の皆様に、卒業時の技術の習得度についての調査をお願いできないか、お伺い申し上げます。

看護技術の到達度に関する先行研究は5件あり、2~3校の学生を対象としたものが1件、残りは本校の学生を対象としたものであり、一般化するには限界があると思われ、本調査を実施しています。

調査の手続きは以下のように考えております。

1. 調査にご協力いただける場合は、同封のはがきに必要事項をご記載の上、1月27日までに投函をお願い致します。
2. はがきを受け取り次第、調査用紙と返信用封筒を封筒に入れたものを必要部数郵送させていただきます。
3. 調査紙が届きましたら学生への配布をお願いできれば幸いです。
4. 学生の皆様には記入後各自で2月20日までに返信用封筒にて返信していただければ幸いです。
5. 回答は無記名ですが、回答者を学校ごとにグループ化するために、調査紙の右上に各学校ごとにアルファベットを無作為につけさせていただきます。アルファベットと学校名は誰も同定できないようにします。
6. ご要望があれば貴校のデータを整理し、結果をお送りしますので、返信はがきにそのようにお書き下さい。但し、データを希望された場合には、確実なデータをお送りできますように、こちらでアルファベットと学校名を同定しますことをご了承ください。
7. データの分析過程においては、学校名が特定されないかたちで実施いたします。

学生の皆様に実施していただく調査紙と依頼書を同封させていただきます。調査は無記名で実施させていただきます、プライバシーを守ること、回答いただけない場合でも不利益なことはないことを記載いたします。また、調査への参加は、自由参加とします。結果がまとまりましたら、報告書にまとめるとともに、日本看護学教育学会、日本看護科学学会等で報告させていただく予定です。

本研究は平成 17 年度厚生労働省科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)を受けて実施しております。本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 18 年 1 月 19 日

平成 17 年度厚生労働科学研究(医療技術評価総合研究事業)「看護基礎教育における看護技術教育の充実に関する研究」

主任研究者 小山眞理子  
神奈川県立保健福祉大学

連絡先 〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1  
電話：046-828-2600 ファックス：046-828-2601  
E-mail：[koyama.m@kuhs.ac.jp](mailto:koyama.m@kuhs.ac.jp)

「看護基礎教育における看護技術教育の充実にに関する研究」の趣旨を理解し、卒業時  
学生の到達度実態調査に協力します。

教育機関名 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

・ 調査紙の部数 \_\_\_\_\_ 部

・ 貴校の調査結果希望の有無

a. 希望する

b. 希望しない

本用紙は、必要事項を記載していただいた上で、1月27日（金）までに投函して下さい。

学生の卒業時の看護技術の習得度と到達度実態調査への協力をお願い

学生の皆様

もうすぐご卒業おめでとうございます。卒業後の新しい生活への期待と不安の中で、国家試験にむけてお忙しい時期かとお察し申し上げます。

私共は、看護学生が卒業後できるだけスムーズに臨床の場に移行できるようにするために看護基礎教育をどのように改善するのかについて研究しています。今年度は特に看護技術教育に焦点をあてて取り組んでいますが、教師や研究者の思いだけでなく、学生の実態を踏まえて、より現実的な教育目標の設定をすることが重要であると考えています。

今回、卒業を目前に控えた看護学生の皆様に、看護技術について、学習・実施の経験や、自分自身ではどれ位できると実感されておられるのかについて調査を計画しました。実態調査の結果は、厚生労働省補助金「看護基礎教育における看護技術教育の充実に関する研究」で看護教育卒業時の技術能力の到達度を定める場合に学生の実態を踏まえる資料として使わせていただくとともに、看護教育関連の学会で発表させていただき、多くの看護教員が今後の看護技術教育の在り方を考える資料にしたいと思いません。

本調査への参加は自由意志のもとで行われるものであり、皆さんが調査に参加されなくても何ら不利益を受けることはありません。調査票は、学校の先生方を通して配布させていただいておりますが、回答の有無は成績とは一切関係ありません。また、回答は無記名で実施させていただきますので、個人が特定されることはありませんし、データの分析も学校名が特定されない形で行います。本調査の結果をできるだけ教育に活かしたいと思っていますので、貴校からの要望があれば、学校ごとにデータをまとめた結果をお返りする予定ですが、その際には個人の回答内容が特定されることはありません。

国家試験に向けてお忙しい時期かと思いますが、お時間のあるときにご記入いただき、3月3日(金)までに所定の位置に提出していただきますようお願い申し上げます。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願いいたします。

平成 18 年 2 月 6 日

平成 17 年度厚生労働省科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

「看護基礎教育における看護技術教育の充実に関する研究」

主任研究者 小山真理子

神奈川県立保健福祉大学

尚、本研究についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

神奈川県立保健福祉大学 看護学科

川守田千秋 電話 046-828-2640

E-mail:kawamorita-c@kuhs.ac.jp

山口由子 電話 046-828-2642

E-mail:yamaguchi-y@kuhs.ac.jp

## 看護基礎教育卒業時の看護技術の学習経験および習得度に関する調査紙

A. 次のⅠ～Ⅳの質問について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。( )には数値、「その他」の内容をご記入ください。

Ⅰ. あなたが通っているのは

1. 専門学校 2. 短期大学 3. 大学 4. その他( )

Ⅱ. あなたと同級の看護学生は何人ですか ( )人

Ⅲ. あなたの学校には付属病院がありますか

1. ある 2. ない

Ⅳ. よろしかったら、あなたの卒業後の就職先を教えてください

1. 病院 2. 企業 3. 訪問看護ステーション 4. 保健所 5. 進学 6. その他( )

B. あなたの在学中の看護技術について、学習経験と、現在どれ位自立してできると思うかについてお伺いします。

以下の各々の看護技術について、該当する番号に○をつけてください。なお自己学習については含めなくて結構です。

\* 「臨地実習で実施した」は、ひとりで実施の場合も、指導者と共に実施した場合も含まれます。

\* 「ひとりでできる」とは、自立して行えることを示しています。

看護技術項目	あなたは左の看護技術をどのように学習しましたか？該当する番号すべてに○を付けてください					あなたは、左の看護技術項目についてどのぐらい自立してできると思いますか？該当する番号1つだけに○を付けてください			
	臨地実習 で	見地学 習 で	学内 演習 で	講義	学 習 の 機 会	ひ ど き り で	少 し の き 援 助	か が あ り ら ば 助	で き な い
1 患者にとって快適で安全な病床環境をつくる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
2 基本的なベッドメイキング	5	4	3	2	1	4	3	2	1
3 臥床患者のリネン交換	5	4	3	2	1	4	3	2	1
4 患者の状態に合わせた食事介助	5	4	3	2	1	4	3	2	1
5 患者の食事摂取状況(食行動・摂取方法・摂取量)のアセスメント	5	4	3	2	1	4	3	2	1
6 患者の栄養状態のアセスメント	5	4	3	2	1	4	3	2	1
7 電解質データのアセスメント	5	4	3	2	1	4	3	2	1
8 患者の疾患に応じた食事内容の指導	5	4	3	2	1	4	3	2	1
9 経鼻胃チューブの挿入・確認	5	4	3	2	1	4	3	2	1
10 経管栄養法を受けている患者の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1
11 患者への経鼻胃チューブからの流動食の注入	5	4	3	2	1	4	3	2	1
12 自然な排便を促すための援助	5	4	3	2	1	4	3	2	1
13 自然な排尿を促すための援助	5	4	3	2	1	4	3	2	1
14 患者に合わせた便器・尿器を選択した排泄援助	5	4	3	2	1	4	3	2	1
15 ポータブルトイレでの排泄援助	5	4	3	2	1	4	3	2	1
16 おむつ交換	5	4	3	2	1	4	3	2	1
17 失禁をしている患者のケア	5	4	3	2	1	4	3	2	1
18 摘便	5	4	3	2	1	4	3	2	1
19 導尿または膀胱留置カテーテルの挿入	5	4	3	2	1	4	3	2	1
20 膀胱留置カテーテルを挿入している患者の管理	5	4	3	2	1	4	3	2	1

看護技術項目	あなたは左の看護技術をどのように学習しましたか？該当する番号すべてに○を付けてください					あなたは、左の看護技術項目についてどのぐらい自立してできると思いますか？該当する番号1つだけに○を付けてください										
	臨 実 地 実 習 し た で	臨 見 学 し た で	学 実 内 演 習 し た で	講 義	学 習 の 機 会	ひ で と り る で	少 で で し の 援 助	か が な あ る り れ ば 助	で き る	で き な い						
21 グリセリン浣腸	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
22 ストーマ造設部の管理、パウチ交換	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
23 臥床患者の体位変換	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
24 ベッドから車椅子への移乗	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
25 車椅子移送	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
26 歩行・移動介助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
27 廃用性症候群予防のための自動・他動運動	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
28 入眠・睡眠を意識した日中の活動の援助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
29 入眠を促す援助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
30 目的に応じた安静保持の援助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
31 体動制限による苦痛の緩和	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
32 ベッドからストレッチャーへの移乗	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
33 ストレッチャーでの移送	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
34 関節可動域訓練	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
35 入浴の介助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
36 患者の状態に合わせた足浴・手浴	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
37 陰部の清潔保持	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
38 乳幼児の沐浴	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
39 臥床患者の清拭	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
40 臥床患者の洗髪	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
41 口腔ケア	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
42 患者が身だしなみを整えるための援助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
43 輸液ライン等が入っていない臥床患者の寝衣交換	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
44 輸液ライン等が入っている臥床患者の寝衣交換	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
45 酸素吸入療法	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
46 気道内加湿	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
47 患者の状態に合わせた温電法・冷電法	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
48 患者の自覚症状に配慮しながらの体温調節	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
49 口腔内・鼻腔内吸引	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
50 気管内吸引	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
51 体位ドレナージ	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
52 酸素ボンベの操作	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
53 人工呼吸器装着中の患者の観察	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
54 低圧胸腔内持続吸引中の患者の観察	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
55 循環機能のアセスメント	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1



看護技術項目	あなたは左の看護技術をどのように学習しましたか？該当する番号すべてに○を付けてください					あなたは、左の看護技術項目についてどのぐらい自立してできると思いますか？該当する番号1つだけに○を付けてください				
	臨実 地施 実習 た で	臨見 地学 実習 た で	学実 内施 演習 た で	講 義	学な し の 機 会	ひ で と り る で	少 し で し て の き の 援 助	か が あ り 得 る 援 助	で き る	で き な い
56 末梢循環を促進する援助(部分浴・電法・マッサージ)	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
57 褥創予防のためのケア	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
58 基本的な包帯法	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
59 創傷処置のための無菌操作(ドレイン類の挿入部の処置も含む)	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
60 患者の創傷の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
61 経口薬(パツカル錠・内服薬・舌下錠)服薬後の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
62 経皮・外用薬の投与前後の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
63 経皮・外用薬の与薬	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
64 直腸内与薬の投与前後の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
65 直腸内与薬	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
66 点滴静脈内注射をうけている患者の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
67 中心静脈内栄養をうけている患者の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
68 点滴静脈内注射の輸液の管理	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
69 皮下注射	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
70 筋肉内注射	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
71 静脈内注射	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
72 点滴静脈内注射	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
73 輸液ポンプの操作	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
74 抗生物質を投与されている患者の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
75 インシュリン製剤の投与	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
76 インシュリン製剤を投与されている患者の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
77 麻薬を投与されている患者の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
78 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤を含む)	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
79 輸血前・中・後の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
80 意識状態の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
81 急変時の気道確保	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
82 人工呼吸	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
83 閉鎖式心マッサージ	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
84 除細動	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
85 止血法	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
86 バイタルサインの測定	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
87 身体計測	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
88 系統的な症状の観察	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
89 バイタルサイン・身体測定データ・症状などからの患者の状態のアセスメント	5	4	3	2	1	4	3	2	1	
90 検査目的に合わせた尿検体の取り扱い	5	4	3	2	1	4	3	2	1	

看護技術項目	あなたは左の看護技術をどのように学習しましたか？該当する番号すべてに○を付けてください					あなたは、左の看護技術項目についてどのぐらい自立してできると思いますか？該当する番号1つだけに○を付けてください										
	臨 実 地 実 習 た で	臨 見 地 学 実 習 た で	学 実 内 施 演 習 た で	講 義	学 な 習 し の 機 会	ひ で と り る で	少 で し で の き 援 助	か が で き な り れ る 援 助	で き な い							
91 静脈血採血	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
92 簡易血糖測定	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
93 検査の目的に合わせた血液検体の取り扱い	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
94 正確な検査が行えるための患者の準備	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
95 身体侵襲を伴う検査(内視鏡、穿刺など)の介助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
96 身体侵襲を伴う検査後の安静保持の援助	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
97 身体侵襲を伴う検査前、中、後の患者の観察	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
98 スタンダード・プリコーション(標準予防策)に基づく手洗い	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
99 防護用具(手袋・ゴーグル・ガウン等)の装着	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
100 洗浄・消毒・滅菌の方法の選択	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
101 感染性廃棄物の取り扱い	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
102 針刺し事故防止	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
103 針刺し事故後の感染防止	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
104 患者の機能や行動特性に合わせた転倒・転落・外傷予防	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
105 誤薬防止の手順にそった与薬	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
106 患者を誤認しないための防止策	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
107 放射線暴露の防止	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
108 インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
109 安楽を促進するためのケア	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1
110 患者の精神的安寧を保つための工夫	5	—	4	—	3	—	2	—	1	4	—	3	—	2	—	1

C. 看護技術教育について何かご意見があればお書きください

ご協力誠にありがとうございました。  
同封の封筒でご投函ください。

資料V-5  
学生調査 結果一覧

看護技術項目	あなたは左の看護技術をどのように学習しましたか? 該当する番号すべてに○を付けてください						あなたは左の看護技術項目についてどのくらい自立してできると思いますか? 該当する番号1つだけに○を付けてください				
	実 施 地 実 習 で	見 臨 学 地 実 習 で	実 学 施 内 演 習 で	講 義	( 講 義 の み )	な し 学 習 の 機 会	き ひ と り で で	で 少 し の 援 助	き が あ ら ば 援 助 で	か な り 援 助 が あ る と	無 回 答
<b>&lt;1&gt;環境調整技術</b>											
1 患者にとって快適で安全な病床環境をつくる							79.1	19.5	0.9	-	0.5
	専門学校(n=1027)	95.6	44.8	54.2	58.4	1.2	-	82.4	16.6	0.6	-
	短期大学(n=19)	89.5	42.1	47.4	57.9	-	-	84.2	15.8	-	-
	大学(n=229)	93.4	44.5	56.8	57.2	1.7	-	64.2	33.2	2.2	-
2 基本的なベッドメイキング							88.0	11.1	0.8	0.1	0.1
	専門学校	96.1	42.3	61.7	57.1	0.3	-	90.2	9.2	0.5	0.1
	短期大学	84.2	26.3	68.4	57.9	-	-	89.5	10.5	-	-
	大学	90.8	41.0	68.6	52.4	1.3	-	78.2	19.7	2.2	-
3 臥床患者のリネン交換							50.4	45.1	4.0	0.1	0.4
	専門学校	92.8	43.3	60.5	55.4	0.5	-	53.0	43.8	2.8	-
	短期大学	78.9	21.1	63.2	52.6	-	-	57.9	42.1	-	-
	大学	82.5	38.4	69.9	51.5	0.9	-	38.4	51.1	9.6	0.4
<b>&lt;2&gt;食事の援助技術</b>											
4 患者の状態に合わせた食事介助							48.1	45.8	5.5	0.2	0.4
	専門学校	89.7	47.4	58.1	57.2	0.6	-	51.1	43.9	4.5	0.1
	短期大学	100.0	36.8	52.6	52.6	-	-	47.4	52.6	-	-
	大学	79.5	48.5	62.4	56.8	1.7	-	34.5	53.7	10.5	0.9
5 患者の食事摂取状況(食行動・摂取方法・摂取量)のアセスメント							42.8	49.4	6.7	0.5	0.5
	専門学校	91.7	38.8	41.1	54.8	2.2	0.2	45.1	48.0	5.9	0.4
	短期大学	93.6	39.6	40.9	54.7	1.6	0.1	36.8	52.6	10.5	-
	大学	84.2	26.3	15.8	47.4	5.3	-	33.2	55.5	10.0	1.3
6 患者の栄養状態のアセスメント							32.5	56.5	10.3	0.6	0.2
	専門学校	89.9	34.8	35.2	56.2	2.7	0.2	35.0	55.4	8.8	0.7
	短期大学	91.2	35.8	34.8	56.1	2.4	0.2	15.8	78.9	5.3	-
	大学	89.5	15.8	15.8	47.4	-	-	22.7	59.4	17.5	0.4
7 電解質データのアセスメント							25.6	56.3	15.5	2.1	0.4
	専門学校	86.2	33.1	30.8	55.1	5.5	0.8	27.5	55.4	14.7	1.9
	短期大学	88.0	34.5	31.2	54.6	4.7	0.4	10.5	84.2	5.3	-
	大学	68.4	26.3	5.3	42.1	5.3	5.3	18.8	58.1	20.1	3.1
8 患者の疾患に応じた食事内容の指導							12.0	53.2	29.4	4.5	0.9
	専門学校	67.2	43.4	30.4	56.5	10.1	1.2	12.5	55.2	27.2	4.2
	短期大学	70.7	43.1	31.3	56.3	8.7	1.1	5.3	57.9	31.6	5.3
	大学	52.6	36.8	26.3	47.4	5.3	5.3	10.5	43.7	39.3	5.7
9 経鼻胃チューブの挿入・確認							7.7	31.6	34.7	25.3	0.6
	専門学校	31.5	57.6	42.7	61.7	13.3	0.9	8.5	32.2	33.7	24.8
	短期大学	33.8	60.4	40.2	61.4	12.6	0.6	3.9	27.9	41.0	27.1
	大学	42.1	63.2	15.8	47.4	15.8	5.3	25.1	45.6	22.2	6.0
10 経管栄養法を受けている患者の観察							22.8	45.6	23.9	6.7	0.9
	専門学校	59.3	52.2	31.6	59.5	10.4	1.1	25.1	45.6	22.2	6.0
	短期大学	63.3	52.7	29.7	59.2	9.9	0.8	26.3	42.1	21.1	10.5
	大学	57.9	57.9	15.8	57.9	10.5	5.3	12.2	45.9	31.9	9.6
11 患者への経鼻胃チューブからの流動食の注入							19.3	35.7	27.9	16.1	1.0
	専門学校	44.4	56.3	30.5	59.6	14.6	1.9	21.0	36.3	26.5	15.1
	短期大学	47.8	57.3	28.9	59.6	14.1	1.3	31.6	21.1	26.3	15.8
	大学	42.1	68.4	10.5	42.1	5.3	5.3	10.5	34.1	34.5	20.5
<b>&lt;3&gt;排泄援助技術</b>											
12 自然な排便を促すための援助							47.1	40.8	10.3	1.4	0.4
	専門学校	78.0	40.2	43.5	60.9	6.5	-	50.1	39.6	8.9	1.0
	短期大学	81.0	41.9	42.3	59.7	5.6	-	26.3	63.2	10.5	-
	大学	57.9	42.1	36.8	57.9	5.3	-	35.4	44.1	16.6	3.5
13 自然な排尿を促すための援助							35.6	44.0	16.0	3.6	0.8
	専門学校	59.6	36.5	39.1	63.2	16.1	1.6	39.0	44.2	13.0	2.8
	短期大学	65.3	39.6	37.3	61.8	13.9	1.2	15.8	52.6	31.6	-
	大学	31.6	36.8	47.4	68.4	21.1	-	21.8	42.4	27.9	7.4
14 患者に合わせた便器・尿器を選択した排泄援助							31.8	49.1	16.4	2.0	0.7
	専門学校	64.1	42.4	57.3	59.2	5.6	0.5	35.6	49.5	12.6	1.8
	短期大学	70.2	44.1	54.8	58.0	4.8	0.5	26.3	52.6	21.1	-
	大学	36.8	31.6	78.9	57.9	-	-	15.3	47.2	33.2	3.1
15 ボータブルトイレでの排泄援助							41.1	44.3	11.9	2.2	0.5
	専門学校	67.7	42.9	36.7	55.7	10.0	1.9	44.5	43.6	10.0	1.6
	短期大学	71.9	44.2	36.8	55.5	8.6	1.2	31.6	57.9	5.3	5.3
	大学	68.4	47.4	15.8	42.1	15.8	5.3	26.6	46.3	21.0	4.8
16 おむつ交換							52.9	39.1	6.5	0.9	0.7
	専門学校	92.2	48.8	49.9	53.8	0.8	0.1	57.9	37.4	3.6	0.4
	短期大学	96.2	48.3	50.1	54.1	0.2	0.1	68.4	31.6	-	-
	大学	94.7	52.6	52.6	52.6	-	-	28.8	47.2	20.1	3.1
17 失禁をしている患者のケア							27.8	45.7	19.9	5.6	0.9
	専門学校	60.3	38.9	29.6	61.0	20.4	1.6	31.5	47.1	16.5	4.1
	短期大学	67.8	41.6	29.9	60.1	16.8	0.9	42.1	36.8	10.5	10.5
	大学	68.4	36.8	21.1	57.9	21.1	-	10.0	40.2	36.2	12.2
18 摘便							7.0	24.5	31.8	35.6	1.0
	専門学校	21.7	62.0	16.2	60.3	18.7	3.4	8.1	26.8	31.5	32.5
	短期大学	25.0	65.9	16.7	59.6	15.5	1.9	-	26.3	42.1	31.6
	大学	15.8	42.1	5.3	52.6	36.8	5.3	2.6	14.4	32.8	49.8
19 導尿または膀胱留置カテーテルの挿入							3.0	23.5	38.5	34.1	0.9
	専門学校	15.9	66.7	53.8	60.9	7.6	0.4	2.7	24.8	36.4	35.0
	短期大学	17.3	70.8	50.1	60.1	7.6	0.5	-	26.3	47.4	26.3
	大学	5.3	47.4	63.2	57.9	5.3	-	4.4	17.5	47.2	31.0

資料V-5 続き  
学生調査 結果一覧

看護技術項目	あなたは左の看護技術をどのように学習しましたか？ 該当する番号すべてに○を付けてください							あなたは左の看護技術項目についてどのくらい 自立してできると感じますか？ 該当する番号 1つだけに○を付けてください				
	実 施 し た 習 得	見 臨 学 地 し 実 習 得	実 学 施 内 し 実 習 得	講 義	( 講 義 の み )	な し 学 習 の 機 会	き ひ と り で で	で 少 し の 援 助	き が か ら な い 援 助	で き な い	無 回 答	
20 膀胱留置カテーテルを挿入している患者の管理	70.9	54.0	33.0	57.9	4.8	0.2	26.6	46.0	20.9	6.1	0.3	
	75.9	54.2	31.6	56.9	3.2	0.1	29.9	47.0	17.3	5.4	0.4	
	78.9	42.1	10.5	52.6	5.3	-	26.3	52.6	15.8	5.3	-	
	48.0	54.1	41.0	62.9	11.8	0.9	11.8	41.0	37.6	9.6	-	
21 グリセリン浣腸	28.0	54.6	48.1	62.6	12.6	0.4	14.7	36.3	29.0	19.1	0.9	
	32.1	58.8	42.1	62.7	13.3	0.5	16.1	36.7	26.2	20.4	0.7	
	15.8	36.8	73.7	57.9	-	-	15.8	36.8	36.8	5.3	5.3	
	10.5	37.1	72.9	62.4	10.5	-	8.3	34.5	41.0	14.4	1.7	
22 ストーマ造設部の管理、パウチ交換	16.9	44.9	24.5	70.0	33.1	2.2	4.5	22.7	38.2	33.7	0.9	
	18.6	49.1	24.1	69.4	31.0	1.6	4.8	23.3	37.5	33.8	0.7	
	5.3	15.8	15.8	78.9	63.2	-	-	15.8	42.1	42.1	-	
	10.0	28.8	27.1	72.1	40.2	5.2	3.5	21.0	41.0	32.8	1.7	
＜4＞活動・休息援助技術												
23 臥床患者の体位変換	92.2	49.2	59.3	56.8	0.5	-	55.3	38.6	4.7	0.2	1.3	
	94.2	49.2	57.8	56.5	0.3	-	57.4	37.3	4.1	0.2	1.1	
	94.7	47.4	42.1	52.6	-	-	52.6	42.1	5.3	-	-	
	83.0	49.3	67.2	58.5	1.3	-	46.3	44.1	7.4	-	2.2	
24 ベッドから車椅子への移乗	91.8	51.1	60.2	57.6	0.2	-	52.3	40.8	6.4	0.1	0.4	
	94.4	51.6	58.4	57.1	0.2	-	53.7	40.5	5.6	-	0.2	
	100.0	42.1	52.6	57.9	-	-	63.2	36.8	-	-	-	
	79.5	49.3	68.6	60.3	0.4	-	45.4	42.4	10.5	0.4	1.3	
25 車椅子移送	97.2	47.4	59.0	56.6	0.2	-	86.8	11.1	1.3	-	0.7	
	97.6	48.3	57.9	56.8	0.2	-	86.7	11.5	1.4	-	0.5	
	100.0	42.1	57.9	57.9	-	-	100.0	-	-	-	-	
	95.2	43.7	63.8	55.9	-	-	86.5	10.5	1.3	-	1.7	
26 歩行・移動介助	95.5	48.2	52.0	55.8	0.4	-	71.8	24.8	2.4	0.1	0.9	
	97.2	48.8	51.6	56.1	0.4	-	73.8	23.4	2.1	0.1	0.6	
	94.7	42.1	31.6	52.6	-	-	78.9	21.1	-	-	-	
	88.2	45.9	55.5	55.0	0.4	-	62.4	31.4	3.9	-	2.2	
27 廃用性症候群予防のための自動・他動運動	61.3	52.4	29.2	58.5	10.0	1.6	27.5	44.3	20.5	7.1	0.6	
	66.3	53.4	28.3	58.3	8.6	1.1	30.1	45.2	17.9	6.4	0.4	
	31.6	42.1	10.5	68.4	31.6	-	10.5	42.1	26.3	21.1	-	
	41.0	48.9	34.5	58.5	14.4	3.9	17.5	40.6	31.4	8.7	1.7	
28 入眠・睡眠を意識した日中の活動の援助	77.7	37.7	27.5	59.9	12.4	0.6	50.4	38.4	8.5	1.8	0.9	
	82.0	39.5	27.6	59.0	9.8	0.3	53.9	37.0	7.1	1.3	0.7	
	63.2	26.3	10.5	57.9	21.1	10.5	31.6	47.4	15.8	5.3	-	
	59.8	30.6	28.4	64.2	23.1	1.3	36.2	43.7	14.4	3.9	1.7	
29 入眠を促す援助	49.3	28.5	34.2	69.4	30.2	1.5	39.4	40.8	14.9	4.2	0.8	
	54.9	31.8	34.5	67.3	25.8	1.4	43.4	39.7	13.0	3.5	0.4	
	15.8	10.5	26.3	78.9	57.9	5.3	31.6	31.6	31.6	5.3	-	
	26.6	15.3	33.6	78.2	47.6	1.7	21.8	46.3	22.3	7.0	2.6	
30 目的に応じた安静保持の援助	70.0	44.6	29.9	59.8	12.8	1.2	33.3	47.5	15.6	3.0	0.6	
	74.8	47.1	29.3	58.0	9.6	0.6	35.8	47.4	13.9	2.5	0.3	
	42.1	36.8	10.5	52.6	15.8	15.8	26.3	42.1	26.3	5.3	-	
	51.1	34.1	34.1	68.1	26.6	2.6	22.3	48.5	22.3	4.8	2.2	
31 体動制限による苦痛の緩和	62.0	41.4	27.5	61.4	17.5	1.2	27.1	45.9	21.5	4.5	1.1	
	67.5	44.0	26.6	59.7	13.6	0.8	29.6	47.1	19.0	3.4	0.9	
	31.6	31.6	26.3	73.7	42.1	5.3	15.8	31.6	36.8	15.8	-	
	39.7	30.6	31.9	68.1	32.8	2.6	16.6	41.5	31.4	8.3	2.2	
32 ベッドからストレッチャーへの移乗	73.6	50.4	49.3	57.7	4.5	0.5	19.5	48.8	27.7	2.9	1.1	
	78.3	51.6	47.0	58.0	4.2	0.4	21.1	48.3	27.6	2.3	0.7	
	63.2	42.1	52.6	47.4	-	-	15.8	57.9	15.8	5.3	5.3	
	53.3	45.9	59.4	57.2	6.1	1.3	12.7	50.2	29.3	5.2	2.6	
33 ストレッチャーでの移送	79.5	48.9	45.5	57.3	4.2	0.4	38.8	46.9	11.5	2.1	0.7	
	82.8	50.0	43.9	57.4	4.0	0.4	40.3	46.2	11.3	1.8	0.5	
	73.7	47.4	47.4	57.9	5.3	-	42.1	47.4	5.3	5.3	-	
	65.5	44.1	52.4	56.8	4.8	0.4	31.9	50.2	12.7	3.5	1.7	
34 関節可動域訓練	55.1	56.1	26.7	58.8	10.4	1.2	20.1	40.8	28.2	9.6	1.3	
	60.5	57.4	24.6	59.1	8.9	0.7	22.5	42.5	25.3	8.9	0.9	
	26.3	57.9	10.5	68.4	31.6	-	10.5	26.3	42.1	21.1	-	
	33.2	49.8	37.6	56.8	15.3	3.5	10.0	34.5	40.2	12.2	3.1	
＜5＞清潔・衣生活援助技術												
35 入浴の介助	95.1	49.9	26.4	54.8	1.2	0.2	38.0	49.3	11.1	0.6	0.9	
	97.1	50.0	26.8	55.2	0.6	0.1	41.3	48.6	9.3	0.2	0.6	
	94.7	31.6	10.5	42.1	-	-	52.6	42.1	5.3	-	-	
	86.0	51.1	26.2	54.1	3.9	0.4	21.8	53.3	19.7	2.6	2.6	
36 患者の状態に合わせた足浴・手浴	96.6	43.2	55.5	57.0	0.5	-	75.5	21.4	2.4	-	0.7	
	97.6	45.5	54.4	56.9	0.2	-	77.8	19.8	1.9	-	0.5	
	100.0	36.8	47.4	57.9	-	-	73.7	26.3	-	-	-	
	92.1	33.6	60.7	57.6	1.7	-	65.5	28.4	4.4	-	1.7	
37 陰部の清潔保持	93.3	50.9	52.9	57.5	0.9	-	64.2	30.4	4.5	0.2	0.6	
	97.2	50.1	51.7	57.2	0.7	-	71.3	25.8	2.3	0.2	0.4	
	100.0	47.4	42.1	57.9	-	-	78.9	21.1	-	-	-	
	75.1	54.6	59.0	59.0	2.2	-	31.4	51.5	14.8	0.4	1.7	
38 乳幼児の沐浴	95.3	50.4	59.4	57.7	0.2	-	48.9	39.5	10.7	0.3	0.5	
	95.8	51.4	58.4	57.1	0.2	-	50.0	39.3	10.1	0.3	0.3	
	94.7	47.4	57.9	57.9	-	-	36.8	57.9	5.3	-	-	
	93.0	46.3	63.8	60.7	0.4	-	45.4	38.9	13.5	0.4	1.7	